

職業能力の形成と教育訓練に関する研究報告書

情報通信のデジタル化により、地域の出来事が瞬時に世界に伝わり、世界がそれに影響されるという、変化の激しい時代を迎えた。わが国の企業においても、新時代へ対応できる人材の開発、個々人の能力開発と、能力開発への期待と重要性が認識されている。

本報告は、労働者のエンプロイアビリティと企業の能力開発、公共職業訓練の現状、海外派遣社員の能力開発、中小企業の能力開発等、今日的課題を考察した。

研究委員会メンバー

(主 査)梶 原 豊	高千穂商科大学 教授
(委 員)荻久保 嘉 章	朝日大学経営学部 助教授
高 見 令 英	国際武道大学教養学部 助教授
海 野 素 央	明治大学政経学部 講師
安 藤 信 雄	経営科学研究所 研究員
(事務局)中 島 徹	(財)雇用開発センター 常務理事
川 上 方 満	(財)雇用開発センター 研究調査部長
平 田 義 明	(財)雇用開発センター 研究調査部研究員

目 次

第 1 章	労働者のエンプロイアビリティと企業の能力開発
第 2 章	公共職業訓練
第 3 章	海外派遣社員の人材開発 —— 海外派遣前教育・訓練の課題と提言
第 4 章	中小企業における後継者の能力開発と評価
第 5 章	中小企業の職業能力開発